

令和7年度 高速道路調査会 講演会(大阪) プログラム

【日 時】 令和7年11月13日(木)

【開 演】 13時30分 (開場12時30分)

【会 場】 AP大阪駅前 APホール (大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビル)

【プログラム】

13:30 ~ 13:35 開催挨拶 公益財団法人 高速道路調査会 理事長 長尾 哲

13:35 ~ 15:05 第1部

◆講 師 名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫 氏
(あいち・なごや強靱化共創センター長)

◆演 題 南海トラフ地震対策と防災庁

本年3月に南海トラフ地震の新たな被害想定結果が公表された。残念ながら12年前に公表された被害量と殆ど変化が無く、減災目標は全く達成されなかった。一方で、昨年発生した能登半島地震では、様々な防災課題が露呈した。これらを受け、7月に新たな南海トラフ地震防災対策推進基本計画が発表された。あわせて、6月には、来年度中の防災庁の設置を念頭に、防災庁で果たすべき役割の検討結果が公表された。本公演では、温故知新の立場で、これらの動向について解説する。

15:05 ~ 15:20 休憩

15:20 ~ 16:30 第2部

◆講 師 宮城県 復興・危機管理部 危機管理監 豊嶋 潤 氏

◆演 題 東日本大震災の教訓から学ぶ

～震災からの復興とこれからの災害への備え～

東日本大震災の発生から14年、宮城県では同じ被害を二度と繰り返さないため“創造的復興”を掲げ、「多重防御」や「高台移転・職住分離」による復興まちづくりを進めてきました。宮城県では、こうしたハード整備とソフト対策が一体となってレジリエンスを高める取組を通し、「災害に強く安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指しています。

本講演では、震災からの復興の歩みと、これからの災害への備えについて考えます。

●CPD/CPDS の「受講証明書」を配布します【リアル開催限定】

会場受付にて、希望者にのみ配布

土木学会認定 CPD 認定プログラム(2.7 単位)/

全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 認定プログラム(101-2 3 ユニット)

●TOP/TOE-CPD 認定プログラム(受講証明書配布無し、各自申請)

一般社団法人交通工学研究会認定プログラム、項目 C01.(1)として各自 CPD 単位数を申請できます。

<オンデマンド配信(第2部のみ)のご案内> ※第1部のオンデマンド配信はございません。

【配信期間】 令和7年11月25日～令和7年12月26日(予定)

・本講演会の内容について、アーカイブ動画配信を行います。※CPD 認定プログラムの対象外です。

・配信期間初日に、メールにてオンデマンド配信についてご案内します。